

五島市は、世界遺産の登録とともに観光客が増え、誘致政策により移住者が増加しています。しかし、「外から来る人が増えても、自分たちの生活はよくなる」「一部のみにしか恩恵がない」という声をよく耳にします。観光客や移住者が増えても、**島全体が潤わなければ意味がありません。**

政治の本来の役目は、「困っている人を助けること」ですが、いまの政治は、「**困っていない人を援助すること**」に多くの税金と知恵を使っています。

市民のみなさんからお預かりした**大切な税金は、市民のために**、市民の生活を支える政策へ。中西だいすけは、五島のすべての人が安心して暮らせる“市民重視”の島づくりに、**全力で取り組みます！**

誘致重視

観光客や移住者の誘致



市民重視

市民の生活を支える政策

中西 大輔(なかにし・だいすけ)

千葉県船橋市生まれ。31歳。立教大学卒業後、野村総合研究所に入社。システムエンジニアとして横浜・東京・インドでシステム開発等に従事。日本各地、10カ所以上の海外を訪問したが、五島の自然の美しさ、人のやさしさに魅了され、これほど素晴らしいところはないと、移住を決意。

現在の活動

- ◆大浜海岸で、五島の海の美しさ、魅力を体感できるマリンスポーツ(SUP)事業を経営
- ◆高齢者が多い五島で、パソコンや携帯電話の相談やトラブルに対応する中西IT出張を経営
- ◆五島列島観光案内ガイド
- ◆地域&海岸清掃ボランティア
- ◆五島市内で政治活動中(街頭演説、お困りごと調査等)



すべての人が安心して暮らせる**市民重視**の政治を！



中西だいすけ後援会

五島市福江町 2-15 090-4606-2390 ✉ nakanishi0404@gmail.com

中西だいすけ ブログ

YouTube 中西だいすけ

@wakuwaku230

中西だいすけ

d_nakanishi_3

無所属

中西だいすけ

市民に寄り添いながら

この五島を**全力**で守ります！

私はこの2年間、五島市内の各地区を巡り、市民のみなさんのお困りごとを調査する政治活動を行ってきました。そこで感じたのは、「市民の声が行政に届かず、“市民不在”の政治になっている」ということです。

中西だいすけは、「市民の声を聞く会」を市内の全地区において開催。毎月1地区ずつ、市民のみなさんの貴重なご意見やご要望をお聞きし、市民に寄り添った政治を実現します！



市民の税金は、市民のために！

討議資料

五島市民を守るための5つの政策!

まずは、この5つの政策を早急を実現します!

中西だいすけ
政策ニュース

不要不急の大型事業を中止し、命と経済を守る新型コロナ対策を!

新型コロナウイルスの影響で、観光業や飲食業などはかつてないほどの打撃を受けています。五島市は、**図書館建設などの大型事業費として10億7,400万円を計上していますが、これらは不要不急の事業であり、その分の予算を経済支援、そして「第2波」の備えに転換します。**

五島市の政策 (令和2年度予算) ※十万円単位以下省略

大型事業 総額 10億7,400万円		
図書館建設 5億6,600万円 総額 14億8,100万円	市役所本庁庁舎・支所庁舎建設 3億9,400万円	福江文化会館等空調設備改修 1億1,400万円

新型コロナ対策
8億3,000万円

五島市が計画している対策費
(一律10万円給付を除く)
※令和2年7月現在

市民の声

コロナの影響で事業者は大変かたに、大規模な予算で図書館をつくるとか信じられん。
(40代・飲食業)



命を守る!

新型コロナ対策②

3 新型コロナの「第2波」に備える!

新型コロナウイルスの感染については、必ず第2波が来るとされています。これに備え、大型事業費の残りの予算分を医療や水際の対策、検査体制の拡充などの各種対策費に転換し、万全の体制を整えます。

また、医療・介護従事者については、国や県の支援のみに頼らず、市独自の支援を創出。高齢者の多い五島市において、負担が大きく、人手不足が懸念される医療と介護を全力で守ります。

市民の声

いつ感染するかわからないなかで仕事をするのはすごく不安。でも、だれかがせんといけんけんね。
(50代・介護従事者)



医療・水際対策

- 医療機関の対策 ●検査体制の拡充
- 隔離施設の確保 ●港・空港の水際対策

医療・介護従事者の支援

事業者の支援

情報収集の強化 調査員の配置

3密を回避するための避難所の整備

経済を守る!

新型コロナ対策①

1 全市民に「1万円分の商品券」を配布!

大型事業を中止した分の予算を、地元で使える商品券に転換。全市民に1人1万円分の商品券を配布します。事業者給付金は事業者のみの救済ですが、市民に商品券を配布することで、市民と事業者の双方が潤うことになります。

市民

市民が潤う

事業者

事業者が潤う

商品券



生活を守る!

市内各地区～店舗を巡回

4 高齢者を支える買い物バスを運行!

島内の交通機関は、本数の少ないバスとタクシーのみのため、車を運転できない高齢者は買い物に苦慮しています。そこで、市内の各地区を巡回する乗り合いバスを運行し、買い物を支援。高齢になっても安心して生活ができる、住みよいまちをめざします。



市民の声

今は元気かけど、あと5年もしたら車を運転できんで買い物に困るやろうけん不安やね。
(70代・女性)



2 「観光の島」から「経済が循環する島」へ!

「観光の島」として外貨を稼ぐ方針を取ってきた五島市ですが、**新型コロナウイルスによってその弱点が浮き彫りに。また、外貨を稼いでも島外へ流出すれば、経済の好循環は生まれません。**

今後は、食とエネルギーの地産地消を推進し、島内で経済が循環する島へ。さらに、自粛要請等に左右されない経済を確立するため、オンライン事業を拡充。五島の中核地である福江商店街の再生にも取り組みます。

農業、漁業、畜産業を活性化する
食料の地産地消の推進

ガソリンの高騰に左右されない
エネルギーの自給率向上

オンライン事業の拡充

福江商店街の再生

5 低年金者や子育て世代を支援!

五島市民の年間平均所得は257万円※で全国と比較しても低く、**国民年金者や子育て世代は、日々の生活を送るのに精一杯という方も少なくありません。**そうした方々を下支えする給付金や控除を拡充します。*2019年

市民の声

月3万円の国民年金しかもらえんけん、働かん生活できんよ。
(70代・男性)

